

大牟田市立吉野小学校

1 本校のESDの特徴

本校は学校教育目標である「持続可能な社会づくりを担う、心豊かでたくましい吉野の子どもの育成」を達成するために、今年度は、「成就感を味わい、自ら進んで行動する子どもの育成」を重点目標に掲げている。自ら課題を持ち、発展的な解決策を考える思考力や他者との双方向の関わりを深める力であるコミュニケーション力、よりよい生き方を見出し実践しようとする行動力を育てていくことが重要である。

本校には「ビオトープ」があり、校区南側に「白銀川」、北側に「隈川」が流れている。また、校内をはじめ白山神社や近隣に多くの桜が植樹してあり、その桜を中心に地域の方々と学校の双方向のつながりを大切に活動を活発に行われている。

このような学習環境をもとに、本校では、よりよい吉野のまちづくり「吉野ハッピータウンプロジェクト」を学校全体の中心テーマとして、3つの領域「環境」「郷土・国際理解」「いのち・人権」(SDG3, 11, 13, 14, 15, 17等)から自己の生き方としての系統化を図り、ESDを推進している。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

(1) 本校のESDのテーマ

「吉野ハッピータウンプロジェクト」～みんなが安心みんなが笑顔で暮らすことができる社会を目指して～

(2) 本年度の目標

- ESDカレンダーを活用し、必要に応じて付け加えや修正を行う。単元計画(ストーリーマップ)を充実させる。
- 課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学びを支援し、児童が自分にできることを考え、進んで活動することができるようにする。
- 持続可能な社会をめざすために、自分たちが考えたこと、活動したことを地域に発信することができるようにする。

(3) 各学年の活動内容

- 1年:「すてきなよしのの はる・なつ・あき・ふゆ」「はなややさいとなかよし」
- 2年:「はっけん! よしののまちの よいところ」
- 3年:「人にやさしい吉野の町」
- 4年:「隈川・白銀川の環境を守ろう」「生き生きビオトープ大作戦」
- 5年:「吉野小桜プロジェクト」「吉野小プロジェクト」
- 6年:「つなごう吉野・大牟田の宝」

3 特徴的な活動事例の紹介

〈4年 「隈川・白銀川の環境を守ろう」「生き生きビオトープ大作戦」〉

(1) 目標

隈川・白銀川の調査やビオトープの管理人として、自分達にできることを考え、友達や地域の方々と協力しながら、川をきれいにするための活動や日本固有種を守り育てていく活動を行う。その活動を通して、吉野小のビオトープを命の場所として守り育て、地域の川もきれいにして日本固有種を育てていきたいという思いを持ち、生物多様性やそのすばらしさ、きれいな川の大切さを知ることができる。

(2) 実際の展開

- ① 川の調査（C D T，生き物）をする。
- ② 川の実態を知り，課題設定をする。
- ③ 自分達にできることを考え，行動する。
- ④ ビオトープの生き物を調べる。
- ⑤ 管理人として生き物を育てる。
- ⑥ 未来につなげるための発信をする。

(3) 子ども達の様子

川の様子を調べ，白銀川の上流と中流の様子を調べた。G Tの方からアドバイスを受けながら，自分たちの住む吉野校区の中流は，川が少し汚れていることを知り，川をきれいにするために自分達にできることを考えた。

学校全体に取り組みを広げ，行動することができた。さらに，上流にいる生き物が日本固有種で吉野小のビオトープを調べると同じ生き物が育てられていることを知り，管理人としてビオトープをきれいにする活動もした。

〈5年 未来につながるまち 吉野小桜プロジェクト〉

(1) 目標

吉野小学校のシンボルである桜に対する先輩や地域の方々の思い・願いについて，DVDを観たり，地域の方々から話を聞いたりして，自分の考えをつくり，地域に多様な方法で発信したり，友達や地域の方々と協働して桜を通したまちづくりについて考え，実践したりする活動を通して，地域に誇りを持ち，地域の今やこれからについて考え，ちいきに貢献したいという思いを持つことができる。

(2) 実践の展開

- ① 学習課題をつかむ。
- ② 吉野の桜の歴史やそれに関わって来られた方々の思いや願いを調べる。
- ③ 桜で繋がる，吉野のまちづくりを実践する。
- ④ 桜プロジェクトと絆プロジェクトの活動をたくさんの人に発信する。

(3) 子どもたちの様子

桜の校章に込められた思いを当時の先生から聞いたり，地域の方々とこれからのまちづくりについて交流し，地域の方の思いに触れたりすることを通して，子ども達は，プロジェクトへの思いを深めていくことができた。本年度は，地域の吉野の里公園の清掃も行って，地域の方が喜ばれるような計画を立てることができた。桜の植樹（白山神社）や寒肥を地域の方と一緒に今年も行うことができた。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・桜と地域の公園の清掃，ビオトープの管理と川の清掃等の実践的な活動を通して，友達や地域の方々と積極的に関わり，学校や地域の一員として，よりよい学校・地域づくりに参画する満足感を味わうことができた。

○課題

- ・コロナ禍においても，地域の方々や他の学校とのつながりをさらに強化できるように考える。



写真1 白銀川の生き物調査



写真2 桜の管理について